

寺子屋ネット福岡代表

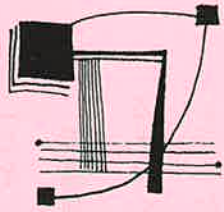
鳥羽 和久さん

とば・かずひさ 1976年生まれ。福岡市中央区で単位制高校と書店を併設する学習塾「唐人町寺子屋」を運営。今年で開設23年目。著書に『君は君の人生の主役になれ』（筑摩書房）など。

存在を丸ごと認める大人必要

■ 子との関係性

学びを語る



大学院生のころ、学費を稼ごうと中学生向けの学習塾を始めました。ほとんど子どもとしか関わらない時間が続きました。9年前に塾の1階に書店を併設し、作家の坂口恭平さんらを招いたイベントを開く中で、大人たちとの関わりも増えていきました。

塾に通う生徒の親との関わりの中で感じるのは、大人も変わることができるといことです。親である大人が変わったおかげで、「この子は前よりずっと楽になった」と感じる場面を見られたのは、一つの希望でした。大人も変わりたい気持ちがあれば変わっていくし、子どもとの関係性も変えていけるのです。

例えば、親が子どもに対して「あなたはお姉ちゃん比べて全然勉強が足りない」と叱る。でも、あるとき「その子にはその子のペースがある」と気づく。そうすると、親の声かけや態度が変わり、自分のやり方で勉強することが認められた子は成績が伸びていく。俯瞰的

塾は、基本的に学力を伸ばす場所なので、それで済む子はそれだけでいい。ただ、人間同士の関わりなので、それだけでは済まないこともあります。

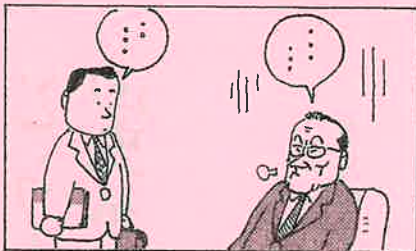
その子の存在を丸ごと認める前提で、得意なこと、不得意なことをちゃんと説明できる大人が周囲にいることがすごく大事だと思います。そこら辺をあいまいにするから、子どもは何となく自信がなくなるわけです。「ここは自信を持って良くて、ここは苦手だから別のやり方をしよう」とはっきりさせれば、それほどネガティブな気持ちにはならないと思います。

問題にも多様な解き方があるのに、学校では「このやり方が正しい」と教えられてしまう。例えば数学の証明でも、教科書の模範解答を教え込まれますが、実際には無数にやり方がある。無数にあるうちのその子だけの解き方が、その子の生き方そのものになる。

「いや、これが正解で近道だから正しい」と言ってしまうのは、それぞれの子どもを殺しているのと同じだと思います。だから数学の証明が面白くなる。そういうところが、あらゆるところで起きている感じがしますね。(小川裕介)



増税メガネ



アスレソコに秋トモローを見ました。やっぱり面白いです。

アレスコ 2023.12月号 秋トモローの笑学校

折々のことば 3054 鷲田清一

笑って許してくれるから 傷つけていいわけじゃないし、理解できないからって 否定していいわけじゃないよね。

原田ちあき

2024.4.11

お元気ですか。

今年は雪どけが早かったですね。毎日伸びていく庭の草を横目で見ながら、時間的に余裕がなく、連休にふったら草取りをしようと思っていました。でもどんどんどんどん葉が大きくなり背も高くなっていき、耐えきれず先日ようやく草取りを始めました。上に伸びている分下にも根が大きく張っていて、根の力は強く、抜き取るのに、ものすごく時間がかかりました。小さいうちに抜いてい

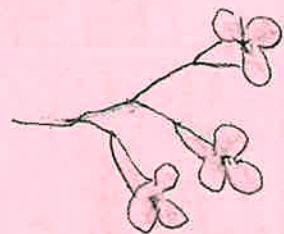
ればこんなにかと時間はいらなかったはず。今更ながら人生訓のようなものを感じ一人で苦笑してしまいました。そういえば昨年は『らんまん』を見ていたので、草を抜くにも躊躇していたことを思い出しました。「雑草」と書くのもためらいがあります。

文責 阿部陽子 スマイルサポート(017-722-3749)



8. ドキ

ドキ
ドキ
しました。



病院まで、遠いこの農山村、
病気を発見しても治療に通う
のも一日がかりでした。

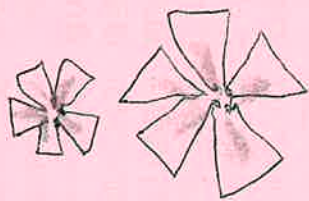
そんな時、一人のお母さん
から相談を受けました。主治
医と相談し、保健室でできる
ことをしました。

看護師、保健師の免許があ
るとはいえ、ドキドキするこ
とでした。

どの子も どんな子ども (3)
土岐 満子

9. トラコーマ

枝内で治療



学校伝染病として指定され
ている眼疾に、トラコーマが
あります。

多くの子ども達が、疾病を
持ち、先生方と力を合わせ、
医師の指導にもとづいて、校
内治療をしました。

保健室の前に子ども達がな
らび、病院の様な保健室でし
た。子ども達の眼を守る為に
必要なことでした。

10.

どうして
回虫がからだに



農村の子ども達、約80%近
くの子ども達が、検便をする
と寄生虫卵(回虫卵)を有し
ていました。

それは、野菜の肥料として
下肥を使っていた為でした。
学校では、駆虫薬の服用と、
排便後の手洗いをつづけまし
た。ときどき、プールに回虫
がしずんでいることがありま
した。

11. 野菜と

洗剤で洗う
こと



子ども達を寄生虫から守る
為に、父母と一緒にできるこ
との一つとして、野菜を良く
洗って食べようと校長先生が
先頭に立ち、洗剤をすすめま
した。

地域のPTAの方々を中心
になり、ひろめてくれました。
地域のつながりができま
した。

